



日曜大衆 八月二十日

リンデー機の修理に エンジン製作の權威

急派された吉田技師

平町出身の海軍大尉

機室に於て發動機に故障を
生じたリンデー機はリンデー
夫妻の手入れでは完全な修
理修理東なく技術者を必
要とする事が判つたので
昨二十一日中島製作所から
吉田技師外技師二名を急派
されたが前記吉田技師は平
町出身の海軍大尉同町字白
泉町吉田禮次郎氏の弟四
郎氏で飛行機のエンジン制
作に關しては我が國に於て
其の右に出づるものなきを
稱へられる權威者である

縣稅の 滞納整理

九月から斷然 差押へ開始

縣稅務平出課所では昨去
る七月末納期の地租、特別
地稅の滞納整理を急いであ
るが地租滞納額一九九六八
圓のうち滞納人員一二六五
人、金額五七六七圓で特別
地稅は滞納額一〇六五五圓
のうち滞納人員五五四人、
金額九二九圓に上つてゐる

ラテの明かぬ 兩川工事

平、湯本兩町 當事者頭痛

平町新川は千二百圓、湯本
町湯川は五千五百圓の縣補
助工費を以て今年度水害豫
防工事の着手認可方を久し
く縣へ申請中であるが皆目
らちが明かぬため兩町より
屢々着工指令の促進方を陳
情してゐたが今以つて縣か
らは何の指令にも接せず今
秋の水害測を控へて當事者
は大いに氣を揉み近々縣へ
向つて強硬なる陳情をなす
形勢にある

野榮類 騰る

品不足と舊盆 近づいたため

右城地方の畑作は七月甲の
雨天つゞきで野榮類に被害
相當多く品不足を告げてゐ
た所へ昨今は反動に早天つ
ゞきで水不足のため被害を
蒙りまた品不足を來したた
形勢にある

三坂、澤渡の水田に はやくも水飢饉

肝心の溜池が渴水し 村民總出の雨乞ひ

今月に入つてから打つゞい
るが三坂澤渡等の山
之も不況のため賣行は昨年
とは比較にならぬ減少で昨

水田の 有様

村民は大いに狼狽し死物狂
の雨乞ひをなしてゐるが
一方畑作では目下ほうれん
草などの播種期であるが水
不足のため播種することが出
ず手をつかなくて天を怨んで
ゐる有様である

客足は廿日も遅い 岐阜提灯の賣行

品物は捌けても安値で 賣上げはお話しの外

右城地方のお盆もあと旬日
の間に迫つて平町にある入
永年の慣例で新佛への贈り
物の提灯屋さんは軒々に涼
物にはなれてきたものな
しい岐阜提灯を並べて客足
を呼んでゐる、今年の値段
は大體
昨年より二三四割
の安となつてゐるが市内二
三の店主の話しによると不
況のため例年より客足は

雨天と不況に 嘆きの氷水屋さん

今夏の賣行は昨年の三分の一

殘暑は相當厳しいが朝夕涼
しい秋風が立つて夏が商賣
の氷水屋さんお盆の
三日間が賣入れの最後であ
らうと云はれてゐるが
今夏の 賣上げ高を
平型氷水屋さんにきくと今年
七月中の賣入れ時を雨天つ
ゞきにすつかり祟られ八月
に入つて晴天はつゞいたが
之不況のため賣行は昨年
とは比較にならぬ減少で昨

涼み臺 哲學

夢之助 無駄な電燈

大抵の家では十時になれば
床に就く、十一時になれば
按察さんも哀調を帯びた笛
の音悲しく訓育院の方に歸

借りた覚えは 御座らぬ

貸借金の 告訴沙汰

小坂内村大字宮居住石
原善文(五)は昨年未小名落
藤井三郎から二百五十圓
を借り受けこの程返却期と
なつたので藤井が再三催促
した處そんな金はまるで借
りた覚えがないと頭張つて
劍もホロ／＼の挨拶に藤井
は憤慨の餘り今廿二日平
へ告訴を提起する

取らぬで 殖え

忙しい郵便局 お盆を控へて

平町材木町洋服商齋藤忠次
は昨年五月中岐阜市今津町
の同業川島定助から洋服生
地數反を買ひ受け代價百十
圓餘は昨年五月に廿圓、八
月に廿七圓、本年六月に五
十圓支拂つて全部支拂済み
になつてゐるにも拘らず前
記川島は一文も受取つたを
三三四圓、貯金受入が四十
圓と云ふので平區裁判所へ
訴へられ強制執行を受けた
ので驚いた齋藤は今廿二日
平署へアヘコへ川島を相
激濁してゐるがこの取扱

増え れ

女優の姿は
華やかだ
殊に活動寫
眞を通して
出合者の目に映る彼れ等の
影に裏面が知られぬだけ一
層美しい、だが本人氣の殺
割を授けて貰ふのに人知れ
ぬ汚れない苦勞のあること
を想像してと覽、それには
余から先きた後付や撮影の
監督共に取入る爲には鼻下
長の狼狽に忙はしくもなる
淺酌低唱、翠帳紅閣、痴話
啼々、千變萬化の秘術も必
要になつて來る寧ろ本職が
それの内職なつた、従つて
藝は下手でも形なしでも書
夜兼行のべつ慕なしに劇以
外の活躍に堪え得る腰から
下の健全がなければならぬ
い、之れを實行出来れば必
ず一躍堂々たる第一流の女
優となる事が近き彼岸に
あるのだ、だ田舎の娘共
女優になる氣はあるか有る
ならあると云つて來い、且
墮落の淵に陥むものと覺悟
して來い

出ては深々として更け行くの
出る。廣告燈は赤くなつた
つて行く。十二時になれば
饅湯屋でも店の戸を開けた
ま、ガラン／＼と音を立て
掃除を始める、一時になら
れば雨の間に咲く花の諸の
姉も眠る始めて聴かて愛益
の寢床に入るのだらう。二
鐘が十時を告げたら半の町
の時過ぎになれば急病で起
れたお替り様と頼まれた泥
糞君と野良犬の外は草も木
も眠つてしまふ。斯くして
消え失せろ



大根栽培法(三)

根栽培法(三)
播種から開け
本縣農試 矢ヶ崎技手
石坂分務
縣農試石坂分務に於ける
大根肥料標準

肥料名 總 量 基肥
堆肥 二〇〇貫 二〇〇貫
大豆粕 一〇貫 一〇貫
米 糖 二〇貫 二〇貫
木 灰 一五貫 一五貫
人糞尿 四〇貫 一〇〇貫
三要素量、窒素、四〇貫
第一回追肥 第二回追肥
(九月下旬) (十月中旬)
人糞尿 一五〇貫 一五〇貫
三要素量
磷 二貫廿五匁 加 三貫六匁
第一回追肥は大形種大根
の點播の場合には株と株の
中央に穴を掘り其の半に施
すのであるが第二回追肥は
葉が繁茂して中央に施すこ
とが出来なくなるので畦の
脇に作を切つて施すのであ
る

管 理
大根は普通播種後三日乃
至四日目で發芽するので
あるが發芽したならば間引
を行はなければならぬ、一
般的に間引の際に餘り着
へて行ふ人は少ないのであ
るが不良なる苗を取除き優
良なるものを殘す様に心掛
けることが必要である、子
葉の色が著しく濃緑を呈す
るもの初葉が赤味を帯びて
ゐるもの子葉の大きさが均等

を缺いてゐるものは不良の
ものとして間引かなければ
ならない

平 町
藤沼醫院
電話七〇五番
入應院需
平 町

スペイン G.H.N 元 詰
甘 味 葡 萄 酒
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン
¥ 1.10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上るさ風味一そう佳良です
(平二)西村屋藥舖 (電三)

お醤油は ヤマフル
醬油 味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
電話(本島) 二七〇番
電話(本島) 二七〇番

新益を御迎ひする
御用意はゼヒ丸ほんにて
お整へ下さい
御盆は一年一度の祖先に對する大供養であり
ます御飾りは御佛への禮でございます
「佛壇佛具一切」を本年は昨年より二、三
割安く四五年より見れば半値以下にて販賣い
たします
丸ほん佛具部
平町三丁目
電話三五九番

夏家具及び雜貨類
一掃大廉賣開催中
清々しい
食堂裝飾
と日本間
の新設備
平公園
表坂前
一度お出で下されば皆様に御満足
のお親みをキツト頂け様と思ひます
サマーのよい女給も揃へました
御調理もおいしくお安く致します

子供服 特賣
夏帽子 特賣
ウルトラな31型
の 麥帽子 四〇銭
シークな子供服
トワラルコ 一五銭
「日本洋行」インショップ クレジットショップ
取揃へマシタ
モリタヤ洋品店
平5丁目353

病體改造
カイソネーチャ療法の出現
海藻蒸熱療法なるが故に従来の物理療法と
異り各種病症に特效あるは既に定評があります
論より証據あらゆる難病者は即時御
實驗を乞ふ
特許中山式 (平町大町電話三七二番)
カイソネーチャ醫城分院
吉田五平

朝日
煙突は
石綿セメント製
経済的
火災の心配が
金屋商店

平 町
I サロンの 平 町
電話三五二
いつもキレイにしています
キレイな座席で氣さすよく
フラスコ料理の 献立

共 濟 病 院
輕費診察開始
郡内廿四ヶ町村の囑託により
六月一日より輕費診察を開始
▲診療科目 内科、小兒科、外科、性科病
科、皮膚科、産婦人科、物理療
科、耳鼻咽喉科、X光線科
▲診察料 輕費診察 五十 銭
本會費 無 料
▲藥價(一日) 輕費診察 十五 銭
本會費 無 料
▲入院料(分) 本會費 一圓以上
本院長 醫學博士 石山 謙郎
本院主 管 賀澤 忠治
御遠慮なく御聴き下さい
△尚不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ
御遠慮なく御聴き下さい
磐城共濟會(電話六
四一〇番)

アゲア
幾多の治療劑中超然として偉
効靈能を有するものは獨り本
藥のみ
肺病、肋膜炎、肺炎カタル等
定價(一圓、四圓、六圓)
平町五丁目角
特約店 山野邊藥局
内科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科 高久病院
レントゲン科
院長醫學士高久忠